

第十講 後期ヘラディック期（ミケーネ時代）：前 1600～1065 年頃

- 1) 考古学的には・・・堅穴墓・ソロス墓の出現 } 王朝の出現  
豪華な副葬品（黄金製品等） }  
2～3 世代使用  
王宮の出現  
遺跡数の増加



このような文明発展に対する従来の説：

アカイア人の侵入と征服（前 1600 年頃）

現在：文化的連続性の強調

黄色ミニュアス式土器：後期ヘラディック期でも制作

堅穴墓の起源：中期ヘラディック期に遡る

- 2) 花粉からは・・・イネ科の雑草

穀物型イネ科	増加→活発な農耕	
ヘラオオバコ	増加→牧畜の活発な活動	
ナラ	減少	}
ゲンゲ	増加	



後期ヘラディック後期の変調

イネ科の雑草	}	減少→農耕の減退	
穀物型イネ科			
ヘラオオバコ		相対的増加→牧畜への傾斜	
ナラ	回復	}	森林伐採と土地開発の低下
ゲンゲ	減少		

全体として地中海農業の特徴であるオリーブやブドウの花粉の欠如

今日の地中海地方の風景を特徴付けるマツの欠如

（ダイアグラムに現れるのは遠方より風によって飛ばされて来たもの）

- 2) 文献史料によって明らかにされて来たもの